

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・**最終**)

音戸中学校区 校番 28 学校名 波多見小学校

a 学校教育目標	小中一貫教育目標 夢をもち 自ら動き たくましく生活する児童生徒の育 成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) ふるさとを愛し、自律できる人材を育成し、地域社会の活性化に貢献 する (ビジョン)(将来の学校像) 自分が好き！友達が好き！学校が好き！夢をもち夢を語ることで できる児童が育つ学校を目指す
----------	---	----------------------	--

c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	令和4年度は、中学校区で決めた「思考表現する力」の向上に国語科に重点をおいた取組を行ってきた。そこでは、ICTを活用した取組において一定の成果があったが、語彙力の弱さから文章を読み取ったり、要旨を読み取ったりすることができず、テストにおける誤答が多く通過率の低下がみられた。 今年度は「思考・判断・表現する力」「協働的に関わる力」の育成をめざし、継続して課題解決に向けた授業づくりを行う。また、児童会活動や縦割班活動をさらに活性化することにより、自己肯定感を高めながら、「呉の学校教育」に示されている三つの重点施策を中心に取り組む。
--------------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	「知識・技能」「思考・判断・表現する力」「協働的に関わる力」「地域の一員として関わる力」
-------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	「前より賢くなった！友達と学び合うことが楽しい」といえる児童の育成	①児童の主体的な学びを実現できるよう授業改善を推進する。	○考える授業づくりを推進する。 ○課題発見・解決学習の授業研修を行う。 ・ICT機器を活用した授業改善を行う。	○学期末評価テストの平均通過率(国・算・理) ○課題発見・解決学習の授業研修を行う。 ○県学習意識調査の質問紙(課題発見・解決学習に関わって) ・ICT活用意識調査(教職員・児童)	80%	77%	96%	B	73%	91%	B
		②豊かな表現力を身に付ける。	○朝の会などでのスピーチ活動を実施する。	○スピーチなど表現力に関する意識調査(学校独自)	80%	79%	99%	B	68%	85%	B
** 豊かな心	「友達大好き・自分大好き・音戸大好き」な児童の育成	③児童の自己肯定感を高める。	○大きな声であいさつができる「あいさつ〇〇」を認定する。 ○異学年同士の関わりを深めることで、達成感を味わうことのできる縦割り班活動を充実させる。	○校内審査などを元に選ばれる「あいさつ〇〇」の割合 ○交流の振り返りアンケートで「目標を達成した(☆3つ以上)」と評価をした児童の割合	40%	40%	100%	A	43%	107%	A
		④個を大切にしたい支援の充実を図る。	○保護者や各所関係機関(SC, SSW等)と連携を図りながら、問題行動や不登校に対応する。	○学校に行くのは楽しいと思う児童の割合	80%	91%	113%	A	96%	120%	A
* 健やかな心身	「運動大好き・給食大好き・早寝早起き音戸っ子」の育成	⑤自らメディアコントロールをする習慣の定着を図る。	○メディアコントロール週間を年3回設定する。(音小、音中と期間を揃える) ○委員会活動で啓発活動を行う。 ○メディアに関する学習活動を行う。	○メディアコントロール(メディアに接する時間を1日1時間以内とする)ができた児童の割合	60%	37%	62%	C	28%	47%	C
		⑥運動に親しみ、体力の向上を目指そうとする児童を育てる。	○委員会活動で全校遊びを実施したり、多様な遊びを紹介したりする。 ○体育科の授業の始めに、単元に合わせた運動遊びを行う。 ○教職員で様々な運動遊びの仕方や授業づくりのポイントについて研修を行う。	○児童アンケート「運動することが楽しい」と回答する児童の割合	80%	83%	104%	A	80%	100%	A
* その他	安心・安全で信頼される学校づくりを目指しながら、教職員が、生き生きと働く職場づくり	⑦防災教育の深化を図る。	○地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育を行う。	○自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童・生徒の割合	80%	90%	113%	A	91%	113%	A
		⑧児童と向き合う時間を確保し、ゆとりと情熱をもって職務に励む環境づくり	○短縮日課の設定、業務の見直しを継続し、職員が集中して教材研究等に取り組む時間を確保する。 ○平日18時半、水曜日は17時半退校をめざし、職員のワークライフバランスを整える。	○職員が、「児童と向き合う時間が確保できた」と回答する割合。 ○時間外勤務が年平均45時間未満の職員の割合	80%	93%	116%	A	92%	103%	A
					80%	79%	99%	B	83%	104%	A

【k:評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60